

# 新型コロナウイルス感染症の症状と経過

～第一波が落ち着いてわかってきたこと～

姫路工学キャンパス新型コロナウイルス感染症総合対策会議

2020.5.20

## 新型コロナウイルス感染症の動向

新型コロナウイルス感染症は1月15日に第一感染者が確認されてから感染者数は徐々に増加。特に、感染者数が日本で最も多い東京は3月頃から感染者数が爆発的に増加しています。

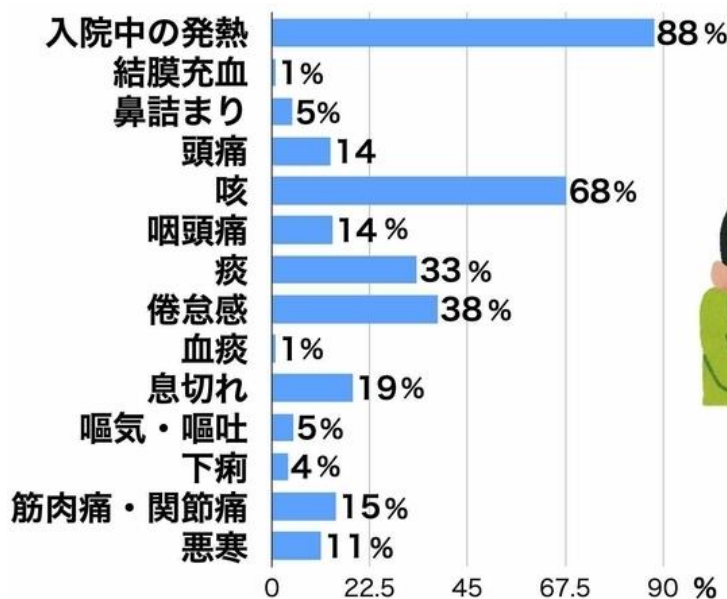
全国的に見てゴールデンウィークを過ぎたあたりから徐々に減少している傾向にあり、多くの県においては2週間感染者が0の地域も見られてきています。緊急事態宣言の対象県となった兵庫県でも、4月11日が感染者数のピークであったと報告をしており、5月18日の時点での新規感染者数は0人となり、一時40人を超えた感染者数は10日連続で1桁台に抑え込むことができています。

5月19日時点での日本における新型コロナウイルス感染者数は16,367人となっており、世界全体で見た新型コロナウイルス感染者数は、450万人を超えていることが明らかとなっています。世界的に見ても特に先進国の中でも日本の感染者数は少ない傾向となっており、緊急事態宣言による外出の自粛や、国民一人一人が意識をして感染症対策をしていることの効果が出ていることがうかがえます。



神戸新聞 NEXT 2020/5/19

## 新型コロナウイルス感染症、どんな症状・経過が多いのか



症状、予防、経過と治療… 新型コロナウイルス感染症とは？ 現時点で分かっていること(5月1日時点)(忽那賢志)

緊急事態宣言以降、全国で新型コロナの症例は減少していますが、まだまだ油断できません。

どのような症状があれば新型コロナを疑い病院を受診すれば良いのでしょうか。

## 新型コロナウイルス感染症の典型的な症状

新型コロナウイルス感染症の初期症状は風邪やインフルエンザと似ています。

風邪は、微熱を含む発熱、鼻水、鼻詰まり、のどの痛み、咳などの症状がみられることが多く、またインフルエンザも風邪と似ていますが、関節痛・筋肉痛を伴うことがあります。

新型コロナウイルス感染症と風邪、インフルエンザの症状とを比べると右の図のようになります。

症状	新型コロナ 軽症～重症まで 幅広い 季節性は不明	かぜ 緩徐に発症 年中みられる だらだら続く	インフルエンザ 突然の発症 冬に多い 通常5～7日で軽快
発熱 	平熱～高熱	平熱～微熱	高熱
咳 	◎	◎	◎
咽頭痛 	○	◎	◎
息切れ 	○	×	×
だるさ 	○	○	◎
関節痛 筋肉痛 	○	×	◎
頭痛 	○	◎	◎
鼻水 	△	◎	○
下痢 	△	×	○ 特に小児で多い
くしゃみ 	×	◎	×

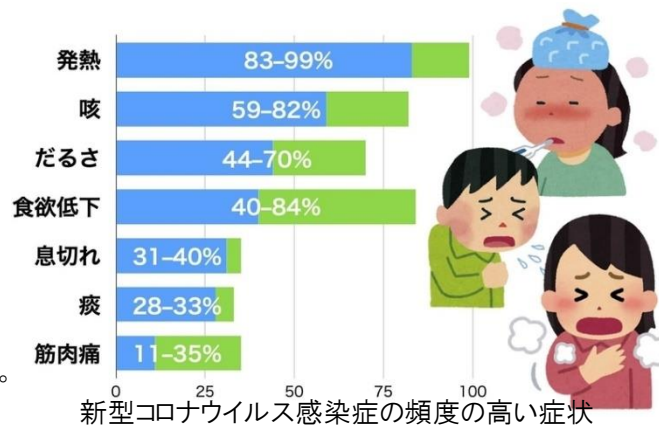
新型コロナと風邪、インフルエンザとの症状の比較(オーストラリア政府啓発資料より)

◎:頻度高い、○:よくある、△:ときどきある、×:稀

また、新型コロナウイルス感染症では典型的には

- ・発熱
- ・咳
- ・だるさ
- ・食欲低下
- ・息切れ
- ・痰
- ・筋肉痛

などの症状の頻度が高いとされます。



(CDC. Interim Clinical Guidance for Management of Patients with Confirmed COVID-19 より)

特に「息切れ」の症状は、風邪やインフルエンザでは稀な症状ですので、新型コロナの可能性を疑うきっかけになります。

## 嗅覚異常と味覚異常

3月以降、新型コロナウイルス感染症患者では嗅覚障害・味覚障害を訴える患者さんが多いことも分かってきました。

イタリアからの報告によると新型コロナウイルス感染症患者 59人のうち、20人(33.9%)で嗅覚異常または味覚異常がみられたとのことです。特に若年者、女性ではこれらの症状がみられる頻度が高いようです。

また新型コロナウイルス感染症であった人とそうでなかった人が自己申告した症状のうち、嗅覚異常・味覚異常は最も新型コロナに特徴的な症状であったという報告もあります。

ただの風邪や副鼻腔炎、花粉症が原因で嗅覚異常・味覚障害が起きることもあるので必ずしも「嗅覚障害・味覚障害＝新型コロナ」ではありませんが、前述のような発熱、咳などの症状に加えて嗅覚異常・味覚異常の症状があれば新型コロナウイルス感染症の可能性は高くなるでしょう。

また、嗅覚障害・味覚障害のみの症状の方もいらっしゃるようですが「2週間以内の海外渡航歴がある」「新型コロナウイルス感染症患者との接触歴がある」「特定のクラスターに曝露している」のいずれかを満たす方では、新型コロナウイルス感染症の検査の対象になる可能性がありますので、かかりつけ医や帰国者・接触者相談センターに相談しましょう。

## 新型コロナの稀な症状：下痢、血栓、不整脈、皮膚症状など

他にも、新型コロナウイルス感染症では稀に

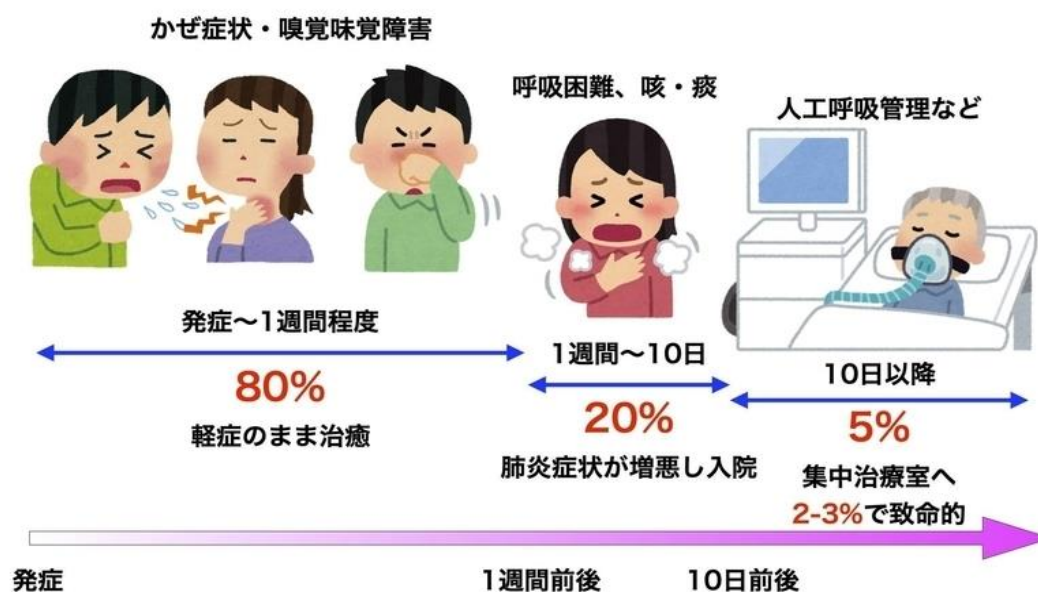
- ・結膜充血
- ・嘔気・下痢
- ・血痰

などの症状がみられることがあります。

この他にも、新型コロナウイルス感染症患者では凝固系の異常（血液が固まりやすくなる病態）や血管内皮障害が起こることが分かっており、これにより深部静脈血栓症や脳梗塞などが起こることがあります。

また新型コロナウイルスは心血管系にも影響を及ぼし、急性冠症候群（ACS）、心筋炎、不整脈（心房細動など）を引き起こすことがあります。

## 新型コロナウイルス感染症の典型的な経過



新型コロナウイルス感染症の経過（忽那賢志作成）

新型コロナウイルス感染症に感染してから約4日（最大14日）後に風邪症状が出現します。

特徴的なのは、症状の続く期間の長さです。新型コロナウイルス感染症は風邪やインフルエンザによく似ていますが、症状が続く期間がそれらと比べて長いという特徴があります。

風邪はインフルエンザに比べるとゆっくりと発症し、微熱、鼻水、ノドの痛み、咳などが数日続き、インフルエンザは比較的急に発症し、高熱と咳、ノドの痛み、鼻水、頭痛、関節痛などが3～5日続きます。

しかし、風邪やインフルエンザが新型コロナウイルス感染症のように1週間以上続くことは比較的稀です（ただし咳や痰の症状だけが2週間程度残ることはよくあります）。

特に重症化する事例では、発症から1週間前後で肺炎の症状（咳・痰・呼吸困難など）が強くなっていくことが分かってきました。日本国内でも新型コロナウイルス感染症と診断された方が自宅待機中に突然亡くなられる事例が報告されています。前述の血栓症が関与している可能性があり、発症から1週間を待たずとも、胸痛や呼吸困難などの症状が急激に悪化するようであればすぐに病院を受診するようにしましょう。

数日～1週間以降に2割弱の患者では、肺炎の症状が増強し入院に至ることがあります。

約5%の症例で集中治療が必要になりICUに入室し、2-3%の事例で致命的になりうるとされています。

また、悪化する際のスピードがものすごく早く、医療現場では数時間でそれまで話せていたのにどんどん酸素が足りなくなって人工呼吸器をつけないと助けられない状況になると言われています。

## 若者も注意が必要

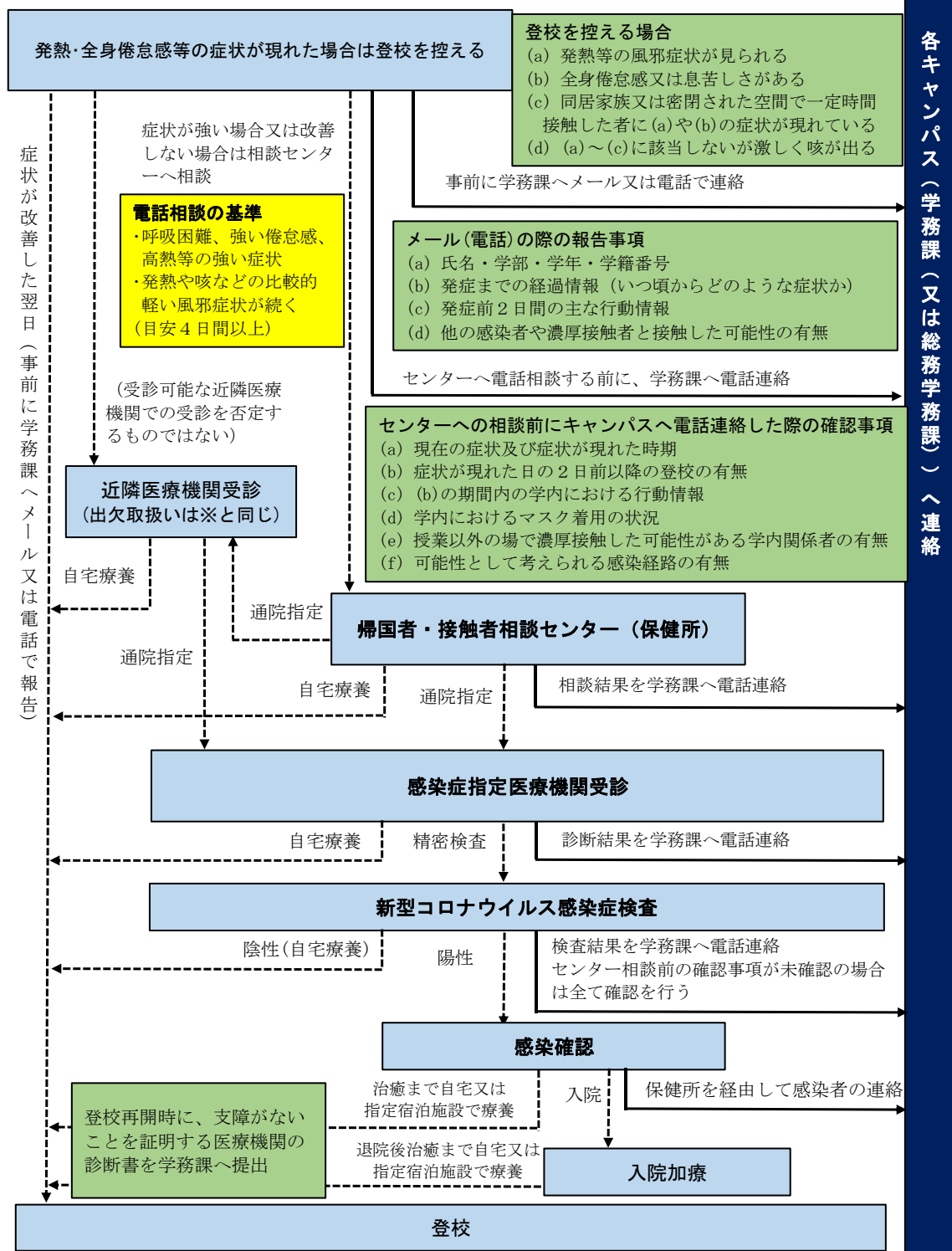
確かに重症になる割合は高齢者の方が高いですが、東京都のデータでは感染者の半数以上が40代以下であり、若年でも感染します。20代で発症し、あっという間に人工呼吸器が必要になった例もたくさんあります。何よりも、感染していれば、症状があまり強くないとしても周りに確実にうつしてしまうので、常に自分がかかっているかもしれないという思いの中で、周りの親しい人たちにうつさないようにするにはどうしたらいいかを考えてもらわなければなりません。

## 病院を受診する前に

自身が新型コロナかなと思ったら、まずはかかりつけ医か帰国者・接触者相談センターに電話で相談しましょう。

帰国者・接触者外来に受診が必要と判断されたら、マスクを着けて、なるべく交通機関を使わずに病院を受診するようにしましょう。

### 感染が疑われる場合等の対応マニュアル（兵庫県立大学）





## 感染により持続的な免疫が得られるのか？



人には一度ウイルスに感染すると免疫を獲得することができ、生涯感染をしないという免疫機構が備わっています。例えば、麻疹や水痘などは一度感染するとその後二度と感染しません。こういった免疫を終生免疫と呼んでいます。

ですが、ウイルス全てが終生免疫を獲得できるわけではありません。例えば、インフルエンザはかかった年にはもう一度かかるということは少ないものの、翌年またインフルエンザにかかるという方もいらっしゃるのではないのでしょうか。これは、インフルエンザというウイルスが終生免疫を獲得できないこと、さらに免疫力が持続しないことから、その年の感染は免れることができたとしても次の年には免疫力がなくなっており、また感染してしまうという結果になるからです。

持続的な免疫獲得というものはコロナウイルスに対しても有効なのでしょう。

新型コロナウイルスに関しては現在も研究段階ということもあり専門家の意見も分かれているというのが現状です。ですが、どの専門家も共通して述べているのは新型コロナウイルス(COVID-19)の終生免疫獲得はできないのではないかとことです。

なぜ、持続的に免疫を獲得することができないのか、その理由については2点が指摘されています。

1点とはほかのコロナウイルスが感染を繰り返しているという点が指摘されており、同じ年に再感染することもあることが研究で明らかになっています。このため、新型コロナウイルスも同じコロナウイルスであることから感染をする可能性があるのではないかと指摘されています。

もう1点とは新型コロナウイルスが抗体を獲得できたとしてもその持続期間が短いのではないかとことです。2002年に流行したSARSも原因ウイルスはコロナウイルスの一種でしたが免疫持続期間は平均して約3年としています。そのため、新型コロナウイルスも免疫期間が短いのではないかと考えられています。

まだまだ研究段階にあり、新型コロナウイルスがどのような免疫機能を獲得するのかは今後分かってくるころでしょう。

## ひとこと

兵庫県では、まだ緊急事態宣言が解除されていないのに5月16,17日の週末は姫路駅前やショッピングモールが賑わっていたようです。現在の静粛は今まで国民がジッと我慢してきた成果です。

緊急事態宣言が解除された後も、引き続き3密空間を避ける、こまめな手洗い、マスクの着用、手指消毒など新型コロナに注意した生活を続けることが重要です。アビガンをはじめ、治療薬の承認がすすみ、ワクチンの開発や治験が進んで、安心して外出できる日々を待つばかりです。

今は後世に語り継がれるであろう歴史の真ただ中にあります。そこには数多の教訓も生まれることでしょう。

次号から具体的な対策についてお知らせします。

## 感染症拡大防止にご協力ください



## 注意する人

以下の人はコロナの相談窓口にご連絡してください。**New! 2020/5/4 基準が変わりました**


比較的軽い風邪の症状が続いている(4日以上は必ず)

息苦しさ(呼吸困難)、強いだるさ(倦怠感)や高熱がある人(すぐに連絡)

高齢者、糖尿病、心不全、呼吸器疾患、人工透析者、免疫抑制剤利用者の軽い風邪症状(すぐに連絡)

発熱等の風邪の症状が見られるときは、大学への通学や通勤はおやめ下さい

## 相談窓口（風邪症状）

名称	専用電話番号	受付時間
姫路市新型コロナウイルス相談窓口	079-289-0055	8:35～21:00
兵庫県コールセンター（予防・検査・医療に関するご相談）	078-362-9980	24 時間
神戸市新型コロナウイルス専用健康相談窓口（予防・健康不安、一般的相談）	078-322-6250	24 時間
神戸市帰国者・接触者相談センター	078-322-6829	24 時間
兵庫県 LINE 公式アカウント 「兵庫県-新型コロナ対策パーソナルサポート」 <a href="https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk26/covid19_line.html">https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk26/covid19_line.html</a>		

## 相談窓口（気持ちの落ち込み）

名称	専用電話番号	受付時間
こころの健康相談統一ダイヤル	0570-064-556	月 0:00～8:30、18:00～24:00 火～金 0:00～8:30、9:30～11:30、 13:00～15:30、18:00～24:00 土・日・祝日 24 時間対応
姫路工学キャンパス保健室（直通電話）	079-267-4820	9:00～17:00 月から金曜日（祝日除）
姫路工学キャンパス保健室（相談専用メール）	himeji.soudan@ofc.u-hyogo.ac.jp	



（引用参考）

クリニックフォアグループ HP コラム 2020/5/14、15

Yahoo ニュース 2020/5/16 忽那賢志 | 感染症専門医

厚生労働省 HP 2020/5/17

日本医師会「医療機関、人が足りない」m3.com 2020/5/14